

●研究倫理委員会報告

1. 日本医学会主催の利益相反シンポジウムへの参加

今日の大学や研究機関にあつては、産学連携による研究が、臨床研究のみならず、基礎研究においても広く行われている。利益相反とは、民間からの研究費の受領や研究機関内のベンチャーに関わるなど研究者個人の利益と、研究成果が公正なものであるかの公的利益とが相反する状態をいう。つまり、科学的真実が利益誘導によって歪められていないかを示すことが社会的に問われている。個々の研究機関ではすでに利益相反のマネジメントが行われているが、研究成果の発表の場である学会主催の大会や学会誌にあつても利益相反の有無について公開が必要となつてきている。そのため、日本医学会は2009年7月15日に生理学会を含む100以上の分科会の代表を集めて利益相反シンポジウムを開催し、学会における利益相反マネジメントの必要性を訴えるとともに、2011年の医学会総会までに、まだ利益相反委員会のない分科会にあつてはそれを立ち上げるよう求めたものである。日本生理学会からは小西真人副会長と研究倫理委員長の蔵田が出席し、学会として今後対応することとした。

2. 2011年日本生理学会大会に向けて

1) 大会のプログラム委員会で、演題募集の際に、従来の動物実験の研究機関承認の有無に加え、ヒトを用いた実験で臨床研究としての審査の有無、および利益

相反の有無についてチェックボックスを設けることになった。今後、これらに関する新たな問題点が生じた場合、関連委員会で対策を検討するとともに、2012年以降の大会に向け準備することを確認した。

2) 研究倫理委員会としてこれまで単独で研究倫理シンポジウムを企画していたが、次回の大会では男女共同参画委員会とシンポジウムを共催することになった。研究倫理委員会として公正な研究と女性を含むキャリアパスを主題として話題を提供することとした。

3. 動物愛護管理法の見直しに向けての要望書提出

2011年に動物愛護管理法の見直しが予定されており、環境省中央環境審議会動物愛護部会および小委員会において検討が行われている。この中で「実験動物施設の届出制又は登録制等の規制導入の検討」、および「実験動物繁殖業者を動物取扱業に追加することの検討」が主要課題として取り上げられていた。これらは現行の法律が成立する際にも検討されたことであり、いずれも動物実験への重大な影響が懸念される。そのため岡田会長名の要望書を作成し、環境大臣あてに郵送するとともに、2010年10月19日に川上順子副会長が環境省動物愛護管理室室長に手渡した。

(蔵田 潔)

●平成 22 年度第二回男女共同参画推進委員会議事録

日 時：平成 22 年 12 月 11 日 10 時半～12 時

会 場：損保会館

出席者：小田-望月紀子，鈴木栄一，松田哲也，宮坂京子，水村和枝

議 題

1. 日本生理学会・解剖学会合同大会におけるワークショップについて

大会シンポジウムの委員会枠を使って，生理学会側から当委員会と研究倫理委員会，解剖学会側からも男女共同参画推進委員会（準備会）と研究倫理委員会が合同で開催することになっている，ハラスメント防止，公正研究に関するワークショップ「生き生きとして公正な研究活動のために—ハラスメント防止を目指して—」について，担当の水村よりその準備状況が説明された。プログラムは，

1) 「学会および大学の研究活動におけるハラスメント問題を考える」

東北大学高等教育開発推進センター教授 吉武清實先生

2) 「研究者と学会に求められる公正研究のあり方」

弘前大学医学研究科統合機能生理学教授で日本生理学会研究倫理委員会委員長 蔵田 潔先生

3) 「名古屋大学におけるハラスメント防止体制の推移」

名古屋大学名誉教授・中部大学生命健康科学部教授 近藤孝晴先生

4) 演者を囲んでグループによる質疑応答・討論

5) 各グループからの報告，吉武先生によるまとめ及びコメント

と言う形式で行うことになった。座長は仙波恵美子先生（解剖学会，和歌山県立医大・解剖学教室）と水村和枝（生理学会，名古屋大学環境医学研究所）が担当することとなった。実際の運営方法について討論し，グループ討論では委員が各グループに別れて参加し，話題提供とまとめを行うことにした。また，昨年度は宣伝をしなかったので参加者が少なかったと思われるので，本年度は内容がわかるような具体的な副題を付けてメーリングリスト等で宣伝をおこなうことにした。

2. 生理学会会員の各階層における男女比に関するアンケート調査について

担当の木村委員が欠席のため，水村より説明が行われた。WEB を使って調査するためそのプログラムを業者に依頼し，ほぼ完成しつつあること，来年の 1 月実施，2 月集計，3 月報告というスケジュールで実施予定である。回答率を高めるため，アンケートの案内を生理学雑誌に挟み込むか掲載してもらおう，またメーリングリストでも案内を行う，等の方法により実施する必要が指摘され，木村委員に伝えることになった。

（追加：その後，WEB 上で実施する場合の個人情報保護について，小西広報・編集幹事，小泉周編集・広報委員とアンケートソフト作成者の間で検討が行われ，使用予定の方法は十分安全であることが確認された）

3. 平成 23 年度 10 月からの第 10 期男女共同参画学協会連絡会の幹事校引き受けについて

学協会連絡会立ち上げ時の正式参加学会が順次担当する決まりとなっており，まだ引き受けていない学会は 5 学会しかなく，生理学会も引き受けざるを得ない状況となっていることが水村より報告された。引き受けることに異議は無かったが，現委員長の水村，現会長の岡田先生の任期がともに 24 年 3 月で切れるので，4 年任期の常任幹事に本委員会に入ってもらい，生理学会の代表として連絡会幹事校としての役割を分担してもらうことを常任幹事に提案することとした。候補としては加藤総夫，関野裕子の 2 常任幹事を挙げるようになった。（なお，委員会の後に開催された常任幹事会でこの提案は認められ，加藤総夫，関野祐子両常任幹事の本委員会委員就任についても承認が得られた。）

4. その他

アドバイザー制を利用した新たな相談が 1 件あったことが報告された。

●委員会名簿平成22年-平成24年

編集・広報委員会 (●=委員長)

● 小西 真人	東京医科大学
上田 陽一	産業医科大学
榎木 亮介	北海道大学
大平 充宣	大阪大学
尾野 恭一	秋田大学
奥谷 文乃	高知大学
柏柳 誠	旭川医科大学
河原 克雅	北里大学
久野みゆき	大阪市立大学
黒澤美枝子	国際医療福祉大学
小泉 周	自然科学研究機構生理学研究所
國分眞一朗	日本大学
小林 誠	山口大学
佐藤 元彦	横浜市立大学
相馬 義郎	慶應義塾大学
多久和典子	石川県立看護大学
能勢 博	信州大学
村山 尚	順天堂大学
毛利 聡	川崎医科大学
柳(石原)圭子	佐賀大学
山下 俊一	女子栄養大学
渡辺 賢	首都大学東京

JPS 編集委員会 (●=委員長)

● 佐久間康夫	日本医科大学
Hsiao Chang Chan	The Chinese University of Hong Kong
Ying-Shing Chan	University of Hong Kong
Brian Oldfield	Monash University
Douglas C. Eaton	Emory University School of Medicine
後藤 勝正	豊橋創造大学
挾間 章博	福島県立医科大学
堀田 晴美	健康長寿医療センター研究所
石川 義弘	横浜市立大学
亀山 正樹	鹿児島大学
狩野 方伸	東京大学
河原 克雅	北里大学
Kyungjin Kim	Seoul National University
小西 真人	東京医科大学
久保 義弘	自然科学研究機構生理学研究所
久保川 学	岩手医科大学
倉智 嘉久	大阪大学
蔵田 潔	弘前大学
黒澤美枝子	国際医療福祉大学
桑木 共之	千葉大学
Weimin Li	Fudan University
丸中 良典	京都府立医科大学
松岡 達	京都大学
三木 健寿	奈良女子大学
箕越 靖彦	自然科学研究機構生理学研究所
三谷 昌平	東京女子医科大学
森田 啓之	岐阜大学

永島 計	早稲田大学
中尾 光之	東北大学
中里 雅光	宮崎大学
西田 育弘	防衛医科大学校
Kazunori Nosaka	Edith Cowan University
能勢 博	信州大学
小河 繁彦	東洋大学
岡村 康司	大阪大学
越久 仁敬	兵庫医科大学
Lawrence G. Palmer	Weill Medical College of Cornell University
酒井 秀紀	富山大学
佐久間一郎	東京大学
Geert Schmid-Schönbein	University of California at San Diego
芝崎 学	奈良女子大学
曾我部正博	名古屋大学
征矢 英昭	筑波大学
Elisabet Stener-Victorin	University of Gothenburg
杉町 勝	国立循環器病研究センター研究所
高橋 英嗣	佐賀大学
高木 都	奈良県立医科大学
鷹野 誠	自治医科大学
竹森 重	東京慈恵会医科大学
富永 真琴	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター
上田 陽一	産業医科大学
Marcel A.G. van der Heyden	University of Utrecht
渡邊 達生	鳥取大学
Paul A. Welling	University of Maryland School of Medicine
Jianqun Yan	Xi'an Jiaotong University School of Medicine
八尾 寛	東北大学

会員委員会 (●=委員長)

● 吉村 恵	九州大学
鍋倉 淳一	自然科学研究機構生理学研究所
富永 真琴	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター
小山 なつ	滋賀医科大学

選挙管理委員会 (●=委員長)

● 加藤 總夫	東京慈恵会医科大学
荒田 晶子	兵庫医科大学
杉原 泉	東京医科歯科大学
赤羽 悟美	東邦大学

教育委員会 (●=委員長)

● 鯉淵 典之	群馬大学
石松 秀	久留米大学
奥村 哲	静岡理工科大学, 理研 BSI
河合 康明	鳥取大学

久野みゆき 大阪市立大学
 椎橋実智男 埼玉医科大学
 中島 昭 藤田保健衛生大学
 松尾 理 近畿大学
 松田 哲也 玉川大学
 森田 啓之 岐阜大学
 森本 恵子 奈良女子大学
 山下 俊一 女子栄養大学
 山中 章弘 自然科学研究機構岡崎統合
 バイオサイエンスセンター

学術研究委員会 (●=委員長)

● 久保 義弘 自然科学研究機構生理学研究所
 大橋 俊夫 信州大学
 岡部 繁男 東京大学
 尾仲 達史 自治医科大学
 加藤 總夫 東京慈恵会医科大学
 木村 純子 福島県立医科大学
 黒澤美枝子 国際医療福祉大学
 佐々木和彦 岩手医科大学
 白尾 智明 群馬大学
 鍋倉 淳一 自然科学研究機構生理学研究所
 福田 敦夫 浜松医科大学
 柚崎 通介 慶應義塾大学

研究倫理委員会 (●=委員長)

● 蔵田 潔 弘前大学
 本間 さと 北海道大学
 松山 清治 札幌医科大学
 伊佐 正 自然科学研究機構生理学研究所
 小川 園子 筑波大学
 北澤 茂 順天堂大学
 西条 寿夫 富山大学
 越久 仁敬 兵庫医科大学
 畠 義郎 鳥取大学
 椋 秀人 高知大学
 粟生 修司 九州工業大学
 桑木 共之 鹿児島大学
 星 詳子 東京都精神医学総合研究所

将来計画委員会 (●=委員長)

● 前田 正信 和歌山県立医科大学
 鯉淵 典之 群馬大学
 久保 義弘 自然科学研究機構生理学研究所
 佐藤多加之 理化学研究所脳科学総合研究センター
 丸中 良典 京都府立医科大学
 芝本 利重 金沢医科大学
 上田 陽一 産業医科大学
 鈴木 敦子 健康科学大学
 内田 さえ (財) 東京都老人総合研究所
 多久和 陽 金沢大学
 矢田 俊彦 自治医科大学
 岡村 康司 大阪大学
 石川 義弘 横浜市立大学
 関野 祐子 国立医薬品食品衛生研究所

野田 百美 九州大学
 佐々木拓哉 埼玉大学

男女共同参画推進委員会 (●=委員長)

● 水村 和枝 名古屋大学環境医学研究所
 木村 純子 福島県立医科大学
 宮坂 京子 東京家政大学
 勝亦 憲子 理化学研究所脳科学研究センター
 鈴木 裕一 静岡県立大学
 松田 哲也 玉川大学
 三木 健寿 奈良女子大学
 小田-望月 紀子 立命館大学 COE 機構
 関野 祐子 国立医薬品食品衛生研究所
 加藤 總夫 東京慈恵会医科大学
 高松 研 東邦大学

賞選考委員会 (●=委員長)

● 松田 博子 関西医科大学
 有田 順 山梨大学
 小田 洋一 名古屋大学
 岡田 隆夫 順天堂大学
 川野 誠子 駒沢女子大学
 國分眞一郎 日本大学
 洪水 克栄 新潟大学脳研究所
 照井 直人 筑波大学
 前田 正信 和歌山県立医科大学
 八尾 寛 東北大学

法人化委員会 (●=委員長)

● 本間 生夫 昭和大学
 佐久間康夫 日本医科大学
 西野 仁雄 名古屋市立大学
 持田 澄子 東京医科大学

フィジオーム・システムバイオロジー推進特別委員会 (●=委員長)

● 倉智 嘉久 大阪大学
 梶谷 文彦 川崎医科大学
 佐久間一郎 東京大学
 砂川 賢二 九州大学
 中尾 光之 東北大学
 野村 泰伸 大阪大学
 本間 研一 北海道大学
 宮川 博義 東京薬科大学
 福岡 豊 東京医科歯科大学

生理学女性研究者の会運営委員会 (●=委員長)

● 少作 隆子 金沢大学
 小田-望月 紀子 立命館大学 COE 機構
 木村 純子 福島県立医科大学

若手の会運営委員会 (●=委員長)

● 佐藤多加之 理化学研究所脳科学総合研究センター
 中道 友 理化学研究所脳科学総合研究センター
 丸山 篤史 理化学研究所基幹研究所

勝亦 憲子	理化学研究所脳科学総合研究センター
奥村 哲	静岡理科大学, 理研 BSI
中島 龍一	Dalhousie University
上窪 裕二	順天堂大学
佐々木拓哉	埼玉大学
和田 真	順天堂大学
宮川 尚久	理化学研究所脳科学総合研究センター
篠田 陽	理化学研究所脳科学総合研究センター

次期会長候補推薦委員会 (● = 委員長)

● 宮下 保司	東京大学
岡野 栄之	慶應義塾大学
白尾 智明	群馬大学
高木 都	奈良県立医科大学
高松 研	東邦大学
松井 秀樹	岡山大学
粟生 修司	九州工業大学

入澤宏・彩賞信託運営委員会 (● = 委員長)

● 川上 順子	東京女子医科大学
岡田 泰伸	自然科学研究機構生理学研究所
佐久間康夫	日本医科大学
袖崎 通介	慶應義塾大学
持田 澄子	東京医科大学

国際交流委員会 (● = 委員長)

● 大森 治紀	京都大学
---------	------

利益相反委員会 (● = 委員長)

● 蔵田 潔	弘前大学
小西 真人	東京医科大学
佐久間康夫	日本医科大学
大橋 俊夫	信州大学